



# 木曽川下流自然観察会

<http://owari.eco.coocan.jp/kisogawa.html>

日時 2019年6月9日(日) 9:30~12:00 (小雨)

参加者 一般:0名

指導員:5名

## テーマ 「梅雨時の花」

梅雨入りしたのでやむを得ないかもしれませんが、あいにくの雨で一般参加者はゼロで、指導員だけの観察会になりました。テーマは「虫」を予定していたのですが、雨では飛ばないので花を中心に見て回りました。

堤防の下の草原では、アカメガシワにアメリカネナシカズラの蔓が絡みつき、芝生との境目辺りにはヤセウツボがたくさん生えていました。

また、芝生にはマンテマの赤い花が咲いていました。こうしてみると、やはり川原では外来種が目立ちます。

大野極楽寺公園の北側の堤防道路では、ナヨクサフジとセイヨウミヤコグサの花がひっそりと咲いていました。先月は見られなくて、堤防の草刈によって消失したのではないかと書きましたが、少しは残っていたものの、花が咲いていなかったのが気づかなかったものです。また、道路の脇にはコメツブツメクサより一回り大きなクスタマツメクサの黄色の花が見られました。

堤防の法面は草が刈られ、かつてここでたくさん見られたヒサウチソウは草刈りで激減し、数株が花を付けていただけでした。代わってコウゾリナが伸びて花を付けていたほか、在来種のクズやガガイモの葉が目立ちました。外来種の駆除には種をつける前の草刈りが有効ようです。

大野極楽寺公園の水路には特定外来生物のオオフサモが繁茂していました。これは刈っても再生するのでなかなか駆除は難しそうです。

外来種が目立つ一方、木曽川の川原では「カワラ」と名のつく植物も見られます。カワラマツバの花を付けていましたが、カワラサイコはまだ咲いていませんでした。今年は花の咲くのが遅めのようです。ほかに、カワラヨモギが見られ、探せばカワラハハコもあるはずです。

また、ここには一宮付近では珍しい植物も見られます。大野極楽寺公園では、池のほとりにツリガネニンジンが見られました。昨年花が咲いていて気づいたものですが、草刈をされても無事に生育しているようです。

138タワーパークのモクバラの池の縁でシロモジの木を見つけました。瀬戸などの丘陵地では見ても、こんな場所に生えているとは驚きです。公園なので植栽されたものかもしれませんが、ここにはフジカンゾウやヌスビトハギなど時々珍しいものが出現しています。(報告: 齋竹)

### <その他観察できたもの>

鳥: ツバメ、ヒバリ、キジバト、ヒヨドリ、ムクドリ、スズメ、カワラヒワ、ホオジロ、エナガ、メジロ、

ハシブトガラス、カルガモ、オオヨシキリ(声)、キジ(声) ウグイス(声)、コジュケイ(声)

虫: モンシロチョウ、ベニシジミ、ツバメシジミ、ヒメジャノメ、ユウマダラエダシャク

その他: ウシガエル

花: タイサンボク、キンシバイ、イワダレソウ、ノアザミ、チチコグサ、ウラジロチチコグサ、オオキンケイギク、  
ブタナ、ヒメジョオン、ヒナギキョウ、キキョウソウ、ヒナキキョウソウ、コマツヨイグサ、ミナトマツヨイグサ、  
ユウゲショウ、ドクダミ、シロツメクサ、コメツブツメクサ、コメツブウマゴヤシ、キランソウ、ハンゲショウ、  
ネジバナ



アメリカネナシカズラ



マンテマ



クスタマツメクサ



シロモジ

